

決 議（案）

リニア中央新幹線は、本県と首都圏、中京圏、近畿圏との交流、連携を促進・強化するとともに、新たな国土の大動脈として我が国の経済社会を支え、東海道新幹線との二重化による災害に強い国土形成に大きく貢献するとともに、三大都市圏を結ぶ日本中央回廊として全国的に効果を波及し地方の活性化を牽引する国家的プロジェクトである。

県内では県内ルート of 9 割を超える区間で工事契約が完了し、南アルプストンネルをはじめ、伊那山地トンネル及び中央アルプストンネルの本坑掘削工事が進展し、長野県駅（仮称）工区では土曾川橋梁の橋脚工事がはじまるなど、工事の進捗が図られるとともに、リニア中央新幹線の整備効果を広く県内に波及させるための関連道路整備も着実に進んでいる。

一方で、東海旅客鉄道株式会社から東京・名古屋間の 2027 年の開業は実現できないと明らかにされ、この開業時期の延期はまちづくりや観光・産業振興等への影響が懸念される。

当地区においても、リニア中央新幹線が、諏訪地区をはじめ中南信地区の交通の利便性向上はもとより、経済の活性化、交流人口の拡大など、地域の発展に大きく寄与することが期待されていたため、地域経済への影響は大きいのではないかと大変危惧される。リニア中央新幹線建設促進長野県協議会においては、関係自治体などと連絡を密にし、一刻も早い開業を望むとともに、より一層の事業推進にあたって、次の事項について格段の配慮がなされることを要望する。

記

- 1 東京・名古屋間について、新たな開業時期を速やかに明確化するとともに、早期整備を図ること。特に、静岡工区については、水資源・自然環境への影響の回避・軽減とリニア中央新幹線の早期実現を両立させる観点から、関係者との協議を積極的に進め、1 日も早く工事着手を図ることを J R 東海へ要望すること。
- 2 リニア中央新幹線の整備が、諏訪地区をはじめ中南信地区にとって最大の波及効果が得られるものとなるよう、県内外の中間駅へのアクセス等の観点から、高速道路や中央東線、飯田線の利便性の向上等について、関係機関・団体との連携・協力に積極的に取り組むこと。
- 3 中央東線の高速化、利便性の向上、快適性の確保の実現に向けて J R 東日本へ要望すること。
- 4 地域の意見のとりまとめ役を果たすとともに、国及び J R 東海等との調整に積極的に関与すること。

また、諏訪地域から山梨県駅へのアクセス機能の向上等について山梨県との連携、調整に積極的に努めること。

以上、決議する。

令和 6 年 8 月 21 日

リニア中央新幹線建設促進諏訪地区期成同盟会